

STEM REPORT Science English, Science & Talk

2021.12.17 FRI

12月17日（金）3, 4限、コスモサイエンスコース1年生 Science English の授業として自然科学研究機構外国人研究者による授業②「サイエンス・イングリッシュ」を実施しました。

すべて英語の授業、コスモ1年生にとっては初めての体験です。

分子科学研究所 Sylvain de Leseleuc 先生に、ご出身のフランスのこと、ご自身のこれまでの経歴、研究者の普段の生活や学会でのこと、そして「アト秒精度の超高速量子シミュレータ開発と量子コンピューターへの応用」についてたっぷりと語っていただきました。



Sylvain 先生には授業後にも「サイエンス&トーク」にて、英語部と3年生（勉強の息抜き？）をあわせた13名にご指導いただきました。

量子力学は高校物理の授業をはるかに超える範囲で、高校1年生には（しかも All English!）かなりハイレベルな内容でした。Sylvain 先生の丁寧な解説と、物理と数学の見事な融合の世界に触れ、知的欲求を喚起される時間となりました。先生、ありがとうございました。

受講生の声：レーザー光を用いて原子の移動速度を遅くする。原子を捕まえられる。捕まえた原子に別の種類のレーザー光を当てて、文字が書ける。彗星が尾を出す原理と一緒に。すごく興味深かった。

力学、光学、エレクトロニクスという分野においてそれぞれ重要なことを教えてもらった。興味をもったことにはどんどん追求をしていきたいと思った。

物理学では、虚数がよく使われているらしい。整数だけの式にしようとしてもできない。虚数なしでは、物理学は成り立たない。新しいことだった。

どの分野に進むにしろ、基礎的な知識や計算が必要となる。そして専門的になればなるほど自分で考え導き出す力が必要となる。